

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	67%	33%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に応じて、2部屋の訓練室を使い分けている。</li> <li>・大きく体を動かす活動内容やイベント開催時には遊戯室を利用したり、訓練室2部屋を1室にしてスペースの拡張するなど工夫している。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であるか	50%	0%	50%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置基準は満たしているが、特性に合わせた対応が多様化しており人が足りないと感じることがあるため、職員間の連携や支援の工夫を日々検証している。</li> <li>・送迎の時刻や場所によっては他部署の職員の協力を得ながら対応している。</li> </ul>
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	83%	17%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的にはバリアフリーの構造となっているが、必要に応じて工夫し対応している、</li> </ul>
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	33%	67%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、管理者を含む各総括職員によるチーフ会議を開催し、事業に関する検討協議を実施し、内容については各部署へ伝達を行っている。</li> <li>・毎月1回の事業会議を開催し、利用児の支援についての検討・周知を図っている。</li> <li>・定期的に確認していくことが必要である。</li> </ul>
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83%	17%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からのご意見は常に意識し、保護者の思いを踏まえて改善するよう努めている。</li> <li>・適宜、保護者との情報共有や報告を行い職員間で周知を図っている。</li> </ul>
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや事業所内に提示して公開している。</li> </ul>
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	67%	33%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者による外部評価は行っていないが、毎月外部の相談員による生活相談日を実施している。</li> </ul>
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	83%	17%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域総合支援センターにて行われる職場内研修や外部研修、法人研修に参加している。</li> <li>・復命研修を行い、資質向上に努めている。</li> <li>・自己研鑽が必要である。</li> </ul>
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管が中心になり、モニタリング会議やアセスメントを適切に行い個別支援計画を作成している。</li> <li>・定期的に評価・見直しを行っている。</li> <li>・職員間でご利用児の状況や保護者との情報共有の内容を反映させている。</li> </ul>
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	33%	50%	17%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所で決められた標準化された様式を使用している。今年度から様式が新しくなったため、活用に慣れることが課題である。</li> </ul>

適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	33%	50%	17%	・毎朝ミーティングを行い、部屋割りや活動プログラムの詳細を決めてチームで取り組んでいるが、より内容を充実させて効果を図ってきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	50%	50%	0%	・様々な分野の活動を取り入れている。 ・日々のご利用児の成長に合わせ、変化を加えている。 ・今後はより多くの体験ができる活動を行っていくように計画している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	33%	67%	0%	・年間を通して、季節に応じたイベントを取り入れ、ご利用児満足度の向上に努めている。 ・長期休暇についても季節を感じられる活動や行事を取り入れているが、より多くの体験を成長につなげることができる活動を積極的に取り入れていくこととしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	83%	17%	0%	・発達段階に応じた活動及び状況に応じた集団活動を行っている。 ・専門職による個別活動を行っている。 ・児童の成長段階、学年、就学等のステージに合わせた計画内容を策定している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	67%	17%	17%	・毎朝の職員ミーティングにて、活動の流れや支援の留意点、ご利用者の状況を話し合い、当日の職員の役割分担を確認している。もれのないように確認をしていきたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	17%	33%	50%	・時間の都合上、当日に振り返りを行うことが難しいが、支援内容の報告、必須の情報共有、ご利用児の留意事項については翌朝のミーティングにて職員間で必ず周知を図っている。 ・勤務で当日休みの職員には引継簿（書面）及び、出勤時に口頭で引継を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	67%	33%	0%	記録に関しては日々作成している。また、支援の検証・改善については記録だけでなく、日々の職員間でのタイムリーな情報共有で支援に努めている。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	・児発管を中心に職員間で情報共有し、モニタリング会議を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	33%	67%	0%	・基本活動を複数組み合わせている。ただ、地域交流の機会の提供については課題である。 ・ガイドラインについては職員間で周知を図っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	・児発管を中心に対象児童に対してアセスメントできている職員が出席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	・基本、保護者からの情報収集による学校の計画、行事等については把握を行っている。また、保護者の了承を得た上で学校発出の情報誌や各種連絡・下校時刻記載のプリントを確認させていただいている。 ・学校へのお迎えの時に担当教諭よりその日の児童の状況の情報提供を受けその内容により当日の支援の内容や配慮を行っている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	67%	33%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、医療的ケアが必要な子どもはいない。</li> <li>・発作や持病がある児童については対応マニュアル（支援の統一事項）を作成し、適切な初動対応が取れる体制を整備している。</li> </ul>
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	67%	33%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所と連携して行っている。</li> <li>・児発管が利用前の担当者会議に出席し、就学前の保育所等の担当者、就学先の学校の担当者との情報共有し児童の支援内容や共通事項について確認を行っている。</li> </ul>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所と連携して行っている。</li> <li>・児童の職場実習先の担当者や障害福祉サービス事業所の担当者との情報共有のための連携を図っている。</li> </ul>
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%	50%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管を中心に専門機関と連携を図っているが、より連携を深めていきたいと考えている。</li> <li>・北部圏域児童発達連絡協議会主催による研修会に参加している。</li> </ul>
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0%	17%	83%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の社会資源を活用する機会は設けているものの、交流する機会をもつことができていないため、模索していきたい。</li> </ul>
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	67%	33%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管が委員となり出席している。</li> </ul>
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅送迎時に必ず保護者にその日の状況や活動の様子を口頭で伝達している。</li> <li>・特記でお知らせすることは当日に必ず保護者に連絡・報告している。</li> <li>・連絡帳に困りごとの記載があった際にはその日に書面で返答し、内容によっては直接電話連絡を行い対応している。</li> <li>・個別に保護者からの相談があったときには、時間を設けて対応している。</li> </ul>
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	67%	33%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員で実施している。</li> <li>・内容によっては個別に時間を設け、保護者支援を行っている。</li> </ul>
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発管が契約時に適切に説明している。</li> </ul>
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時、支援会議等で相談を受けた際は丁寧に対応し、チームで共有している。</li> <li>・必要に応じて個別に時間を設け相談を受けている</li> </ul>	
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	83%	17%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と職員との保護者懇談会を年に1回実施し、その中で保護者同士の交流が図られている。</li> </ul>	

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期対応を心がけている。</li> <li>・真摯に受け止め、早急な対応、丁寧な説明を行っている。</li> </ul>
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に1度、保護者へ文書を発行・送付し活動内容や行事等についてお知らせしている。</li> <li>・イベント・行事については別途お知らせ通知を发出している。</li> </ul>
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法律に基づき細心の注意を払っている。</li> <li>・法人で決められた行動規範チェックを定期的実施し、正当は個人情報の取り扱いについて確認を行っている。</li> </ul>
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とは電話やメール、文書だけでなく、直接話をして共通認識を図っている。</li> <li>・児童については特性に応じた方法でコミュニケーション、意思の疎通を図っている。</li> </ul>
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	67%	17%	17%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域総合支援センターとして、毎月1回のすまいるマルシェを実施している。</li> </ul>
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	67%	33%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員には周知・徹底している。</li> <li>・各種マニュアルについては策定済みである。今後、保護者への周知を図っていく。</li> <li>・感染防止のためのマニュアルに沿って、保護者にも協力をいただいている。</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月実施している。</li> <li>・地震や火事、土砂災害等を想定して、定期的に避難訓練を行っている。</li> </ul>
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の年間計画に沿って、虐待防止のための研修を実施している。</li> <li>・定期的に虐待防止委員会を実施し、検証内容については全職員に周知している。</li> </ul>
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束適正化委員会の中で、身体拘束についての協議を行っている。</li> <li>・身体拘束解除に向けた協議を定期的に行い、やむを得ない時には、保護者の意向も踏まえ、保護者に説明し、同意書をいただいている。また、その内容を職員に周知し、対応についても統一している。</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師による食物アレルギー表を作成し、職員間で周知し対応している。</li> </ul>
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域総合支援センター内でリスクマネジメント委員会を毎月実施し、検証している。</li> <li>・部署内だけでなく、全体でヒヤリハットを共有している。</li> </ul>	